

SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けたジュリークの取り組み

1985年創業当時から地球環境の保護を追求

ポーラ・オルビスグループの Jurlique International Pty Ltd(本社:豪州南オーストラリア州、以下「ジュリーク」)は、1985年の創業当時からサステナブルファーム(持続可能な農園の維持)に取り組み、地球環境の保護を追求してきました。ジュリークでは、国連が2030年に向けて持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)として掲げている17の目標のうち、以下の8つの実現に取り組んでいます。

Jurlique



SDGs 達成に向けたジュリークの取り組み

- 3** すべての人に健康と福祉を

全ての年代の人々の健康的な生活を保証し、福祉を促進する

ジュリーク農園で働く人々へのケアの一環として、理学療法士を雇うなど、身体的及び精神的健康、栄養、運動に焦点を当てた健康と福祉プログラムを採用しています。また、2018年には、女性の幸福に関連した慈善団体“Dignity”とパートナーシップを組み、約3,000個以上のジュリーク商品を寄付しました。
- 5** ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を実現し、すべての女性を元気にする

従業員内の女性と男性の賃金格差をなくすことを保証し、女性管理職を積極的に登用するなど女性が活躍できる風土の醸成もジュリークのCSR活動の柱のひとつと考えています。2019年には、ポーラ・オルビスグループ全体で女性管理職比率は約45%となり、その中でもジュリーク(各国支社を含む)の女性管理職比率の平均は60%を超えています。
- 7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに

全ての人に安価で信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

アデレードにあるジュリークオーガニック認証自社農園と倉庫、乾燥小屋の屋根にソーラーパネルを設置して自家発電をしています。自社農園においては、再生エネルギー使用率は約60%となっています。
- 8** 働きがいも経済成長も

全ての人のための「継続的、包括的かつ持続可能な経済成長」及び「ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)」を推進する

若者に就労、職業訓練の機会を提供することを目的とし、科学を専攻する地元の学生に、化粧品の調合や開発、パッケージデザインから販売まで、幅広いスキルを実践的に学ぶ機会を創出し、コミュニティに還元しています。



包括的で安全かつ耐久力のある持続可能な都市及び居住地を実現する

毎年6月頃に植樹の日を設け、アデレードのオーガニック認証自社農園に世界中より集まったジュリークのスタッフが植樹しています。植樹した木の数は10,500本以上、参加者は計1,000人以上にもなり、四半期ごとに手入れを行っています。植えられた10,500本の木々は約700~1,100トンもの大気中のCO2を軽減し、植物の多様性と自然水路を強化する働きもします。



持続可能な消費と生産パターンを展開する

2016年以降ジュリークの工場と農園から出た廃棄物はゼロ。全ては再利用、リサイクル、またはエネルギーに転換されています。ジュリーク・ジャパンではノベルティに再生コットンを使用したアイテムを採用(2019年ホリデーギフトキット)、2020年3月にはペーパーバッグを廃止しており、よりサステイナブルな消費行動を促進します。ポーラ・オルビスグループ全体としては、2029年に廃棄量2018年比26%削減を目指しています。



気候変動による影響を軽減するための緊急対策を講じる

カーボンフットプリントを最小限に抑えるための容器包装の分析をするなど、パッケージのライフサイクルアセスメントを導入しています。また、あらゆる側面でCO2排出を削減する努力をしています。例えばビデオ会議を用いることで飛行機を利用する出張を減らしたり、社員同士のカープール(通勤時の車の相乗り)を推奨したりするなど、大気汚染の防止、CO2排出削減に努めています。ポーラ・オルビスグループ全体としては、2029年にCO2排出量2018年比26%削減を目指しています。



陸上生態系の保護、回復、持続可能な利用を推進する

ジュリーク農園では野生動物や野生の木々と共存するために、広大な敷地のうち22ヘクタールで農作物と干し草の生産をしています。さらに、20ヘクタールは野生動物の通道にもなる低木地帯として活かし、生物多様性の保全を目指しています。

ジュリークにおけるSDGs(持続可能な開発目標)の取り組み

オーガニックやエシカルという概念がまだ広く知られていなかった1985年の創業当時から、ジュリークは地球環境への負荷を軽減する取り組みを継続的に行ってきました。「バイオダイナミック無農薬有機農法を用い、原料となる植物を自ら栽培」「雨水の再利用を用いた節水」「自社農園や工場からのごみは全て再利用、リサイクル、またはエネルギーに転換」など、多岐に渡る取り組みを実践しています。これからもオーガニックコスメのパイオニアとして、自然と環境、女性が輝く未来につながるような活動に取り組んでいきます。

ジュリークについて

ジュリークは、世界で最も美しい空気と肥沃な大地が広がると言われているオーストラリアのアデレードで1985年に誕生しました。寒暖差の激しい過酷な気候を持つこの大地に、唯一無二の広大なオーガニック認証自社農園を所有し、土づくりから、植物の栽培、製造から品質管理まで一貫して行い「自然を贅沢に極めるこだわりの化粧品」を創り続けています。現在、豪州・免税店・中国・香港を中心に19の国と地域にて展開しています。

<https://jurlique-japan.com/>